

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 畑地帯総合整備事業(担い手支援)

箇所名: 西浦みかん東部地区

照会者: 受益者(各集落の地元役員・若手農家) 15名

担当課: 農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	寿太郎みかんは貯蔵庫での熟成が必要で、収穫や貯蔵庫への搬出入、貯蔵期間中の毎日の品質管理に労力がかかる。農道整備により作業労力が低減されることが期待される。	<p>営農条件の改善に大きく寄与する幹線農道と支線農道の整備について、引き続き早期完成を目指して事業を推進します。</p> <p>農道整備に伴い必要となる流末排水路については、農道の施工に先行して整備を進めているところです。また、農道拡幅中も降雨時の状況を現地確認しつつ事業を実施します。</p> <p>一般車両のアクセスし易い圃地が増えることで、こうした取り組みが拡大し、地域の農業振興に資するような用途で本事業で整備された農道をご利用いただけたら幸いです。</p> <p>地域の営農計画や集積の促進が早期に実現できるよう、引き続き、地域との調整を図り早期完成を目指して農道事業を進捗します。</p> <p>パイプラインの整備は幹線農道の拡幅工事との同時施工で実施しており、幹線農道の整備と併せて早期に進めて参ります。</p> <p>農道整備に伴い防災対策等の効果も見込めるという地域からの期待に寄与できるよう、一層の早期完成を目指してまいります。</p> <p>先行して完成した平沢地区の畑地帯総合整備事業で得られた知見や効果、御意見を踏まえながら、引き続き西浦みかん東部地区の整備に繋げてまいります。</p>
2	事業継続を要望	33号幹線農道が完成し、元々道がなかった畑に車で乗り入れが可能になったため営農効率が劇的に改善された。収穫時期に手伝い人に直接乗用車で来てもらえるようになった。	
3	事業継続を要望	流末の排水対策はしっかり行つたうえで、農道の早期の事業完了を図ってほしい。	
4	事業継続を要望	農道整備により、複数農家での共同のミカン狩り体験や福祉との連携が行いやすい環境ができた。	
5	事業継続を要望	農道整備により、営農に要する時間が大きく低減され、農圃の規模拡大や、収穫、出荷最盛期以外に別の仕事に掛ける時間も増え収入の安定に繋がっている。	
6	事業継続を要望	新規開削区間が開通すれば、選果場へのアクセスが劇的に改善され、また、他集落にある畑へのアクセスも容易になる。今後改植や規模拡大を計画しており、開通に大いに期待。	
7	事業継続を要望	現況の道路状況では貸し出しが困難で、このままでは廃圃となる恐れが高く地域の喫緊の課題。農道ができれば、圃地の継続性が劇的に改善される。	
8	事業継続を要望	パイプラインが開通すれば、畑近くの給水スタンドから水が供給でき防除作業の手間が改善されるので、パイプラインの事業を進めてほしい。	
9	事業継続を要望	営農環境の改善ももちろんだが、大雨時の住民の緊急避難路としての役割に期待しており、幹線農道の開通は切実な要望である。確実に事業の推進を図ってほしい。	
10	事業継続を要望	山火事の際の消防車の連絡経路や津波への緊急避難路としても期待している。	
11	事業継続を要望	地域にとって道と水は非常に大切。これまで、水の運搬を何往復も行うことで道が渋滞した。平沢地区で給水所が配置され、条件の良くなった畑をみんな借りたがっている。今後期待している。	
12	事業継続を要望	平沢農道ができ、同集落の畑は他集落の営農者からの貸出希望が絶えず、荒れた畑が無い。畑総をやった本当に良かった。他路線との接続等、今後期待している。	

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 集落基盤整備事業

箇所名: 朝霧高原地区

照会者: 朝霧高原地区推進協議会長ほか役員、各路線受益者 計14名(令和5年2月より) 担当課: 保全課
 (受益者: 農道1号2号5名、農道3号3名、農道4号1名、ほ場整備4名、ほか1名) 全員事業継続を希望

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を希望	朝霧高原地区の今後整備予定集落道のうち、特に集落道4号については猪之頭区中村墓地を利用する人のためにもできるだけ早く拡幅を進めてもらいたい。	集落道4号は、用地買収・補償が完了し、工事を開始しました。早期完了を目指し、集落内の利便性を向上できるように努めます。
2	事業継続を希望	事業完了した麓区農道4号については、供用開始直後は排水不良などが一部あったが、県の速やかな対応により解消され、今は非常に利便性を感じている。	引き続き他区の路線や施設の整備を進め、朝霧高原地区の農業振興と地域振興が図れるよう、事業を進めて参ります。
3	事業継続を希望	農道3号路線の改良を進めてもらいたい。	関係機関協議・地元調整、用地取得を進め、早期の道路改良完了を目指します。
4	事業継続を希望	猪之頭区に関しては、ほ場整備も完了し、そこに連絡する集落道3号路線の整備も完了している。富士宮市による猪之頭区市道整備と併せて事業の効果を実感している。地元調整などの協力を惜しまないので、現在実施中の集落道2号・集落道4号もこのまま事業として整備してもらいたい。	現在実施中の集落道2号・集落道4号路線についても、早期完成を目指して引き続き事業を推進します。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 農地防災事業

箇所名: 柿沢川南部地区

照会者: 柿沢川南部地区の受益者、農業委員、土地改良区理事他 計9人

担当課: 農地保全課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	改修前までは、少し強い雨が降るといちごハウスが浸水していたが、改修を進めたことで水の流れが良くなった。1年に数回も浸水してしまう場所では、今後農業を続けられなくなるため、1日も早く完了するよう事業を進めてもらいたい。	安心して耕作ができるよう、更なる効果発現のため、引続き早期完成を目指し事業を推進していく。
2	事業継続を要望	効果を感じているため、引続き事業を続けてもらいたい。	安心して耕作ができるよう、更なる効果発現のため、引続き早期完成を目指し事業を推進していく。
3	事業継続を要望	本事業の上流側について、平成に入ってから4～5回湛水している。事業の早期完成を望む。	安心して耕作ができるよう、更なる効果発現のため、引続き早期完成を目指し事業を推進していく。
4	事業継続を要望	現在工事箇所が2箇所であるが、工事延長の見直しや工事箇所を増やす等進捗を早めてもらいたい。	非出水期(11月～5月)内の施工となるため、1箇所あたりの施工延長に制限がある。このため、令和5年度以降は工事箇所を2箇所から3箇所に増やし、事業進捗を早めて早期完成を目指す。
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 農地防災事業

箇所名: 米津排水路地区

照会者: 米津排水路地区の受益者(営農者、改良区役員、自治会役員) 計10人

担当課: 農地保全課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・湛水被害が発生する地域であるため、早期事業完了をお願いしたい。 ・営農活動に支障を来さないように工事を進めて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区及び自治会からは、米津排水路最上流部の天理教教会付近が最も排水被害を起しやすいため、債務工事を活用し、切れ目ない施工体制を構築し、工事の進捗を図る。 ・河川内工事は11月から翌3月の期間に行い、営農に支障が無いようにする。
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・米津排水路最上流部には民家が多くあり、降雨等により湛水被害が発生しやすい地域であるため、早期に河川改修をお願いしたい。 ・屋島川の整備が完了となるため、米津排水路についても早期の河川改修整備をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋島川については、令和4年度末に完了したため、今後は米津排水路の整備を集中的に行っていく。 ・債務工事を活用し、切れ目ない施工体制を構築し、早期完成を目指していく。
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修区間については、湛水被害が解消されているため、未改修箇所の早期完成をお願いしたい。 ・早期完成を要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月の台風15号においても、整備区間については、湛水被害が発生しなかった。引き続き早期完成を目指していく。
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に米津水門橋を含む河川改修を行って頂きたい。 ・民家が多いため、安全には十分配慮して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米津水門橋の撤去に必要な調査が令和4年度末までに完了したことから、令和5年度から米津水門橋前後の改修を実施する。 ・施工時には、常に交通誘導警備員を配置するなど安全対策を行うとともに、地域住民には、工事説明会や回覧等で工事に対する周知を行う。
5	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・国道1号線に近い場所であるため、早期に河川改修を行って頂きたい。 ・地域住民の散歩コースになっているので、安全に配慮して施工して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋島川については、令和4年度に完了したため、今後は、米津排水路を集中的に整備していく。 ・施工時には、常に交通誘導警備員を配置するなど安全対策を行うとともに、地域住民には、工事説明会や回覧等で工事に対する周知を行う。
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・白羽町内の整備は完了しているが、上流域の整備についても引き続き実施して、早期に河川改修を行って頂きたい。 ・未整備区間では湛水被害が発生すると聞いているので早期完了をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・債務工事を活用して、切れ目ない施工体制を構築し、早期完成を目指していく。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業
 箇所名: 一般国道414号 静浦バイパス
 照会者: 一般国道414号 静浦バイパスの受益者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	沼津大平ICまでの部分開通のため、通過車両が大平地区の県道に流入し、朝夕は渋滞が発生している。早期の全線開通を望んでいる。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	沼津市内から順天堂大学医学部附属静岡病院に600件以上搬送している。国道414号は通勤ラッシュや観光期は混雑しており、スムーズな搬送ができない。また、幅員が狭い区間では、大型車とのすれ違いには十分注意する必要がある。大規模災害発生時の沼津市、伊豆の国市方面への相互の現場到着時間が短縮され、広域的にバックアップできる体制が確立される。また、津波警報や津波発生時に、香貫地区等からの避難経路として有効。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保され、災害発生時における代替路としての輸送機能も確保できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	沿線の新設工業団地には、既に企業数社から進出希望が寄せられている。工業団地の立地により、新たな雇用創出に加え、伊豆の国市・沼津市の活性化に大きく貢献すると考えている。	バイパス整備により、アクセスが向上することや、ルートを選択肢が増え、混雑時の定時制向上が期待できることから、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	部分開通によって、回送ルートの所要時間が大幅に短縮されるとともに、当区間に、新たに2路線のバスを運行する予定。 現道は、カーブ区間や狭小区間があるため、大型車とすれ違う際は、徐行する等、事故防止に気を付けている。 また、朝夕の通勤時間帯や雨天時、観光シーズンなどは交通量が多く、バスの遅延が多く発生している。 開通により、現道の交通量が減少することで、安全な運行や定時制の確保、新規路線運行による利用者の増加に期待している。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保され、公共交通の利便性向上も期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	現道はバス通りのため、渋滞が発生し、現場納入時間が遅延することがある。 開通により運搬時間が短縮することで、輸送効率のアップや運搬エリアの拡大に期待している。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保され、企業活動への支援にもつながることから、早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	社員の約4割が現道を通勤に利用している。通勤時間帯及び観光シーズンは渋滞するため、通勤時間短縮の観点で早期開通の効果が高い。 部品供給、製品輸送の観点からは、全線開通による迂回経路確保の効果が大きい。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保され、企業活動への支援にもつながることから、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	業務や配送で現道を利用しているが、カーブが多く大型トラック、バスのすれ違いによる渋滞が発生している。事故の原因にもなり、渋滞に巻き込まれると迂回路もない。 一部区間の開通では、利用しづらく、早期の全線開通を望む。輸送における渋滞緩和に期待する。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保され、企業活動への支援にもつながることから、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	津波時の避難場所や避難経路として、盛土部の歩道に接続する階段を要望してきた経緯があり、早期の供用開始に期待がある。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保され、災害発生時における代替路としての輸送機能も確保できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
9	事業継続を要望	大平までの一部区間開通によって、接続する大平地区内においては、県道原本沼津線の渋滞が想定されるため、早期の開通を期待する。 残る区間の整備期間が、これまでのような長期間となるのであれば、同時並行で大平地区の渋滞対策としての新たな道路(新橋)整備も必要になる。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	大平地区は、これまでは市外を通過して遠回りしなければ行き来できなかったが、1期工区の開通によって行き来しやすくなる。我々(参加者)が生きている間に全線開通して欲しい。今後の工事の安全を祈っている。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。
11	事業継続を要望	大平地区から市街地方面へ自転車歩行者道ができ、通学等の日常の行き来ができるようになる。 部分開通によって、下香貫地区から三島・裾野方面へ通勤しやすくなる。 部分開通までに30年を要し、時間がかかりすぎているので、早期の全線開通を望んでいる。 全線開通までの間、大平インターチェンジが暫定形状のため、近隣住民にとってはランプ周辺の通行に一部制限が生じる。早期の完成を期待している。	バイパス整備により、現道の交通分散が図られ、渋滞の緩和や安全で円滑な交通が確保されることから、早期完成を目指し事業を推進する。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料

事業名： 一般国道469号・御殿場バイパス 道路整備事業

箇所名： 御殿場市

照会者： 道路整備事業の関係者 4名+3機関

担当課： 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・現道は、道幅が狭く、通学路としても危険が多い。 ・交通量も増えており、渋滞も発生しているので早期に整備してほしい。	早期完成を目指し事業を推進していく。
2	事業継続を要望	道路整備を早目に継続すすめていただきたい。また、関係者には具体的情報を早目に提供してほしい。	事業の進捗を可能な限り発信していく。 早期完成を目指し事業を推進していく。
3	事業継続を要望	バイパスが完成すると、交通量が増大し児童、生徒の危険が増すと思われるので、交差点に地下歩道の設置を要望します。	地下道について設置できるか検討をしていく。 早期完成を目指し事業を推進していく。
4	事業継続を要望	住民の利便性向上の為、早期着工、早期完成を要望します。	早期完成を目指し事業を推進していく。
5	事業継続を要望	主要道路が整備される事により、それに伴う横道も整備される。	早期完成を目指し事業を推進していく。
6	事業継続を要望	地元負担を伴うことなく、早期に事業を完成されたい。	早期完成を目指し事業を推進していく。
7	事業継続を要望	・一部区間の整備が完了し便利になり良かったので、続きの工区についても早期整備を望みます。	早期完成を目指し事業を推進していく。
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道473号 大代拡幅

照会者: 一般国道473号 大代拡幅の受益者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	規格の高い道路や空港へのアクセスがよくなることで、集客力の向上やそれに伴う開発が進むことを期待しています。 また、島田金谷IC周辺が交通結節点として、川根エリアへ向けた観光・産業の拠点として賑わうことを期待している。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や企業誘致・活動の支援、観光振興の支援が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	物流や通勤者の円滑な交通が確保されることで、工業用地としての魅力が高まることを期待しています。 また、この地域は島田市が目指す「稼ぐ拠点」として地域経済をリードし、その効果を市内全域に波及させたいと考えています。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や企業誘致・活動の支援、観光振興の支援が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	大代拡幅の整備により、広域交通の連携が高まることで、周辺を含む地域振興を期待しています。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や観光振興の支援が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	コロナ前に戻りつつあり、今後インバウンドも含め交流人口の増が期待される。 近隣のグランピングやSLなどの魅力的な施設があり、国道の整備による安全性が高まり、バイク、アウトドアなど人を呼び込める武器になると期待する。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や安全性の向上、観光振興の支援が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	本市の観光振興を図る上で強みとしている交通結節機能がさらに強化され、新東名島田金谷ICに着地したマイカー客のスムーズな地域回遊につながることを期待できる。 IC傍に開業したKADODE OOIGAWAを拠点に地域回遊を促すことは本市観光の目指すところでもあり、域内を東西南北に移動しやすい環境が整うことは、観光客の満足度の向上につながるだけでなく、地域住民の利便性を確保することにもつながると考えられる	4車線化により、道路ネットワークが強化され、観光振興の支援が期待できることから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	国道473号は、五和小の通学路であり、地域から交通安全や防犯の理由から歩道整備や信号機や防犯カメラの設置について多くの意見や要望が上がっている道路である。 今後、門出駅周辺に多くの観光客が集まることを考えても、当該道路の安全性を向上させることは、地域にとっても通学で利用する子供にとっても大変有用なことである。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や安全性の向上が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	金谷北部及び川根管内への災害出動や島田市医療総合センター等への搬送に国道473号を利用しており、4車線化により走行性が安定することを期待している。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	島田市は、国道1号を中心として東名高速道路、新東名高速道路、静岡空港、御前崎港を結ぶ交通の結節点であり、これを結ぶ道路は地域にとって大きな経済効果をもたらすため、今後も継続した事業促進をお願いしたい。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化や企業活動の支援、観光振興の支援が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。
9	事業継続を要望	東名高速道路、新東名高速道路、静岡空港、御前崎港を結ぶ道路は、大規模災害時における救命活動、物資輸送、復興活動に欠かせないものであるため、早期実現を要望する。	4車線化により、道路ネットワークが強化され、交通の円滑化が期待できることから、早期完成を目指し事業を推進する。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 県道富士停車場伝法線

照会者: 県道富士停車場伝法線の受益者(自治会役員等)

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	開通により、旧東海道(県道富士由比線)と大月線(県道富士富士宮線)を結ぶ新しいルートができる。これにより、周辺道路への交通集中の緩和を期待する。開通の際は、市道を含めた安全対策を検討してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。開通の際は、関係機関と調整の上、必要な安全対策等を実施する。
2	事業継続を要望	早く工事を完了してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	早く完成してほしい。子供の通学路のためにも、橋の下を東西に通れるトンネルを作るようにしてほしい。車道と歩道をしっかり区分して、安全を確保してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。橋梁により分断される堤防道路については、代替道路を計画している。当該道路には、両側に2メートルの歩道を設置する。
4	事業継続を要望	交通の便が良くなるので、早く開通してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	交通の便が良くなる。スクールゾーンのため、スクランブル交差点もしくは歩道橋の設置を検討してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。開通の際は、関係機関と調整の上、必要な安全対策等を実施する。
6	事業継続を要望	開通により、旧東海道(県道富士由比線)と大月線(県道富士富士宮線)を結ぶ新しいルートができる。これにより、富士北地区を縦断的に通過する車両の交通集中の緩和などを期待する。開通の際は、市道を含めた安全対策を検討してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。開通の際は、関係機関と調整の上、必要な安全対策等を実施する。
7	事業継続を要望	当事業の実施により、周辺の渋滞や事故の増加などへの対応や、地域経済への好況につながり、また、防災面でも重要な役割を果たすものと期待している。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	買い物や通勤・通学などに利用したい。また、今の開通区間だけでは、朝夕の渋滞解消につながっていない。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	当該区間の開通により、交通の分散が進むと考えるので、事業の継続を強く望む。4車線の供用となった場合は、付近住民への安全対策と不便さの解消を実施してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。開通の際は、関係機関と調整の上、必要な安全対策等を実施する。
10	事業継続を要望	事業を継続し早期の完成をお願いしたい。伝法沢に隣接する一方通行の道路も広げてほしい。	当該道路については、一方通行を含む区間の県道のバイパスとして整備を進めており、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	事業を継続し、完成後には4車線で開放してほしい。伝法小学校や青葉台小学校が近くにあるので、安全対策も同時に実施してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。開通の際は、関係機関と調整の上、必要な安全対策等を実施する。
12	事業継続を要望	早期の完成をお願いしたい。伝法工区は、暫定2車線で開放しているが、4車線で開通した時は、上田端の交差点に信号機を設置してほしい。	当該道路の完成により、富士市内の南北交通の円滑化や、地域経済の更なる活性化などに寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。伝法工区内の交差点への信号機設置については、引き続き、警察に働き掛けていく。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名： 地震・高潮対策事業

箇所名： 馬込川

照会者： 馬込川水門建設事業の関係者(地元自治会、教育施設、市民団体等)

担当課：河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	防潮堤と水門整備は一体不可分であり、水門の竣工を可能な限り早めてほしい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	住民は水門について非常に関心が高い。事業のスケジュールや完成時期などを周知してほしい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進するとともに、県民にわかりやすい事業スケジュール等の広報に努めてまいります。
3	事業継続を要望	水門があれば避難時間も多く取れ多くの命も救われます。早く完成してほしい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	水門ができれば津波の被害はある程度防ぐことができると思います。完成まで5年、私たちのために頑張ってくれていることに感謝します。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	水門建設自体には賛成も反対もない。ただし水門建設後の環境変化(水の流れ、砂の溜まり方、波の打ち込み等)は実際に水門を建設してみなければわからないことなので、気にしてほしい。	事業の進捗に伴う環境の変化については、学識者等の意見を参考に必要に応じて調査等を進めてまいります。
6	事業継続を要望	水門建設は浜松沿岸域の津波対策の最後の要であることから、一刻も早く完成させてほしい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	水門建設とインフォメーションセンターの存続は地元の観光資源になり得る。	防潮堤の利用施設と同様に浜松市に協力を求めてまいります。
8	事業継続を要望	水門建設は非常にありがたい。ぜひ進めていただきたい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	L2での減災効果をしっかり考慮した上で、水門は地域にとって最も安全で安心な対策と感じる。検討の経緯を振り返ることができるよう記録を残してほしい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。また検討・建設時の記録等については可能な限り保存するよう努めてまいります。
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 地震・高潮対策事業

箇所名: 二級河川初川、二級河川糸川、二級河川熱海和田川

照会者: 津波対策水門整備事業の受益者等11名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 水門整備は、関係者が時間をかけて検討し決まったもの。観光客の安全・安心につながるので、観光協会としては早く進めて頂きたい。 水門の管理橋ができること、一般の通行も可能になると聞いており、2工区と3工区の間を(国道へ迂回せずに)観光客が通れるようになるのは非常に良いと思う。 初川水門工事に伴う歩道の通行止めについて、当初は通行止めだったところ、関係者の話し合いの結果、最小限の幅で通行可となった。工事に支障のない範囲で、今後も通行できるように配慮して頂けるとありがたい。 熱海港海岸渚地区4工区の整備、和田浜の旅客船待合所の整備も併せて進めて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。 歩道について、資材の搬入時等のやむを得ない場合を除き、できる限り通行可能となるよう配慮のうえ工事を行います。 渚地区4工区の整備及び旅客ターミナル(待合所)の整備について、関係者と調整を図りつつ進めてまいります。
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果がどのくらいあるのか分からないが、基本的には水門整備に賛成。地震はいつ発生するのか分からないので、早く作って頂きたい。 個人的には、水門整備よりも山側への逃げ道を作る方が重要ではないかと思っている。道路を作るのは簡単ではないが、花火大会時の人出を見ていると、短時間に多くの人逃げられる道が必要だと感じる。 水門の管理橋ができることにより、1工区、2工区方面から(3工区)の遊覧船乗り場へ来る客の動線が良くなるので、当方としてもメリットはある。 防波堤の追加整備や消波ブロックの追加設置により、港内の静穏度を上げつつ、津波に対して少しでも逃げる時間を稼ぐような対策ができないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。 避難のための道路を新たに作る対策は実施しませんが、避難方向の路面表示や津波避難ビルの指定等のソフト対策を実施することとしており、水門整備等のハード対策と相まって、被害軽減に資するものと考えています。 津波対策として、防波堤や消波ブロックの整備を行うことはありません。港内の静穏度については、既存施設により確保されているものと認識していますが、近年の気象状況の変化等に伴い対策が必要となる場合は、別途対策を検討します。
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 水門を作ることは賛成。 工事実施に当たっては、引き続き歩行者通路の確保をお願いしたい。どうしても難しい場合でも、花火大会の日だけは通す等の配慮をお願いしたい。 水門の管理橋ができることで、観光客には良いことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道について、資材の搬入時等やむを得ない場合を除き、できる限り通行可能となるよう配慮のうえ工事を行います。
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続を希望。津波が河川を遡上してくるので、水門によって逃げる時間をかせぐというのは重要だと思う。 管理橋ができるので、観光の面でも良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。
5	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続を希望。初川は既に工事に着手しており、ここでやめるという選択肢はないのではないか。 予算とのバランスがあるので難しいことは承知しているが、津波対策のため水門整備を実施していることについて、オーロラビジョン等により、観光客やマンション住民向けにもっと周知を図るべきではないか。通常の工事の立て看板では誰も見ない。地元の間は知っているが、観光客の大半は、ここで何の工事をしているのか知らないまま帰っていくと思う。観光客やマンション住民にとっても、メリットの大きい事業だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客等への事業の周知方法について検討します。
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 熱海和田川の水門整備を早く進めてほしい。 津波が川を遡上してくると、年配の方が昔から言っていた。住民は皆心配している。 観光客に対して、何の工事をやっているのか、分かりやすく知らせた方が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。 観光客等への事業の周知方法について検討します。
7	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に継続で良いと思う。 長期間にわたる事業なので、途中で地震・津波の前提条件が変わったり、新しい技術が出てきて工法が変わったりすることもあるのではないかと。頑なに当初の計画に縛られるのではなく、細部は柔軟な対応を望む。 熱海港の渚地区4工区の整備について、手戻りのないよう関係者と十分に調整されたい。1~4工区すべて完成すると、感じの良い観光ラインとなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で、前提条件が変わることは想定していません。工事の実施にあたっては、新技術の採用によりコスト縮減が図られる場合等もあり、新しい情報を確認しつつ進めていきます。 渚地区4工区の整備について、関係者と調整を図りつつ進めてまいります。
8	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 継続を希望。 今は工事箇所から比較的距離があるのでそれほど気にならないが、糸川の水門工事の際には、騒音や振動等に対する苦情が出るかも知れない。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。
9	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 水門は将来的に必要なものなので、継続して進めて頂きたい。 初川水門工事の影響により、夏季の花火大会の際に設置していた2工区(一般客用有料観覧席)と3工区(ホテル旅館組合宿泊客用観覧席)の一部観覧席が設置できなくなった。そのため、2工区もホテル旅館組合の宿泊客用観覧席とする運用としており、一般客用(約1,500人分)の観覧席がなくなった。その影響でサンビー側が非常に混雑しており、安全面で懸念している。工事の施工ヤードが必要なので、やむを得ない措置であると思うが、夏季の花火大会の数日だけなので、なんとか対応して頂けるとありがたい。 これまで、歩道の開放等についてご配慮頂いていることは承知している。 コロナが落ち着いてきて、日帰り客が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。 花火大会の観覧席としてデッキの一部が使用できなくなっている点について、ご迷惑をおかけしています。狭隘な用地条件下での工事のため、デッキの一部を取壊し、施工ヤードとして使用する必要があり、引き続きご理解・ご協力をお願いします。なお、夏季の花火大会時の対応については、事前に関係者と調整を行います。
10	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 組合員の中には、中止してくれと言う人もいるかも知れない。(水門整備に対して)ダメとは言えないので、漁協にも配慮しながら実施して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業への影響に十分配慮のうえ、工事を行います。
11	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> 逃げる時間をかせぐため、水門整備を進めて頂きたい。 住民は高齢者が多く、逃げるのにとても時間がかかる。ほとんどの人が避難所(第一小)まで行けないと思うので、町内会で独自に近隣ビルの所有者へ依頼し、津波の際に避難させてもらえるようにしている。 今の段階で、町内会から工事の騒音がうるさいという苦情が出ている。水門整備の工事なので仕方がないと言って抑えているが、今後工事が本格的に進んでいくともっと苦情が出る可能性がある。 なんの工事をしているのか、観光客向けに分かりやすく周知する必要があるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期完成を目指して事業を進めます。 騒音・振動に配慮のうえ、工事を行います。 観光客等への事業の周知方法について検討します。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 沼津牛臥海岸

照会者: 牛臥自治会関係者・島郷自治会関係者からの意見

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	景観については、海側からではなく陸側からの景観や御用邸内からの景観を損なわないように配慮してほしい。	景観については、専門家のご助言をいただきながら整備を進めています。また公園の管理者である沼津市と調整をしながら津波に対する治水安全度の向上と名勝公園の価値の保存が両立できるような事業を進めてきました。今後も引き続き調整を続けながら進めています。
2	事業継続を要望	ただの防潮堤だけでは、もったいないので散策ルートや海に来る人の利用に対して何か工夫してほしい。	新設堤防の天端幅は既存堤防の天端幅と同様3.0m確保しています。利用者の安全を確保するために転落防止柵も設置しているため、散策や海に来る利用者の利用は可能です。
3	事業継続を要望	当海岸は、地域の皆様のごウォーキングや散策の場としてにぎわっており、海岸の利用状況を踏まえ、海岸の安全確保と堤防の早期実現を目指してほしい。	まずは地域の皆様のご要望や利用実態を加味し、令和6年度までに堤防の嵩上を完了し、その後、牛臥水門の嵩上を実施し、令和8年度中の事業完了を目指しています。
4			
5			
6			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 相良須々木海岸

照会者: 高潮対策事業の受益者 20名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	住民の生命を守るために必要な事業であり、早期の完成を要望する。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
2	事業継続を要望	須々木川以北の計画堤防高が他区間に比べて低い。早く計画通りに工事を進めてほしい。	津波シミュレーション結果に基づき、一連区間の高さを決定しており、須々木川以北では南側よりも想定される津波高が低くなっているため、計画堤防高が低くなっています。工事を計画通りに進められるよう、予算確保に努め、事業を推進します。
3	見直しを要望	堤防上に遊歩道を設置してもらいたい。	堤防上の管理用道路は、通行できるように開放する予定です。
4	事業中止を要望	工事が計画通りに進んでいないため、高台への避難路整備や高台移転を進めた方が良い。	工事が計画的に進むよう予算確保に努め、事業の促進を図ります。
5	事業継続を要望	津波に対して効果があるため、継続を要望する。堤防上へ昇る階段を整備してほしい。	現在、階段やスロープ等が設置されている箇所へ階段等を整備します。
6	事業継続を要望	時間がかかったとしても事業の継続を要望する。材料等の高騰により予算が不足しないか心配をしている。	地域住民の生命・財産を守るよう、引き続き予算確保に努めながら、早期完成に向けて事業を推進します。盛土材の確保やコスト縮減について、引き続き検討してまいります。
7	見直しを要望	L1津波に対して防御できるのか、不安である。	本事業で整備している防潮堤は、L1津波に対して防御できる構造としています。
8	見直しを要望	海岸を利用しやすいように、防潮堤背後の傾斜部を緩やかにするか、階段を整備してもらいたい。	現在、階段やスロープ等が設置されている箇所へ階段等を整備します。
9	事業継続を要望	早期完成を目指してほしい。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
10	事業継続を要望	早期完成を推進をお願いします。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
11	事業継続を要望	早期完成を目指し、事業の推進を要望します。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 相良須々木海岸

照会者: 高潮対策事業の受益者 20名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
12	事業継続を要望	津波対策事業を推進してほしい。 景観がさみしくなるが、命が大事であるため、仕方がない。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
13	事業継続を要望	工事に着手をしているため、全体の整備が必要である。	防潮堤は、一連区間を繋げることで、十分に効果を発揮するため、引き続き予算確保に努めながら、早期完成に向けて事業を推進します。
14	事業継続を要望	いつ津波が来るかわからないので、急いで整備してほしい。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
15	事業継続を要望	津波対策事業については推進してほしい。 早期の完成をお願いします。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
16	事業継続を要望	地元住民の意見を最優先して、早期の事業推進及び完成をお願いします。 近年の超大型台風による高潮や高波への対策としても早急な対応を検討してください。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
17	事業継続を要望	津波対策事業は継続と併せて、早期の完成を目指す対応を望みます。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
18	事業継続を要望	早期完成をお願いします。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。
19	事業継続を要望	着工したからには完成させてほしい。 進める段階は近隣の意見を聞きながら実施してほしい。	防潮堤は、一連区間を繋げることで、十分に効果を発揮するため、引き続き予算確保に努めながら、早期完成に向けて事業を推進します。 事業の計画については、丁寧に説明を行い、御理解をいただきながら、工事を進めてまいります。
20	事業継続を要望	海岸に近い住民は津波への不安が非常に大きい。 地域住民の生命や財産を守るため、今まで以上に予算を確保し、事業を進めるよう要望する。	地域住民の生命・財産を守るよう、早期完成に向けて、予算確保に努めながら、事業を推進します。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 静岡海岸

照会者: 静岡海岸高潮対策事業に関する自治会連合会長からの意見

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	まだ完了していない久能地区の嵩上げ工事を引き続き進めるとともに、大谷川放水路河口水門の嵩上げ工事の促進をお願いしたい。	引き続き予算確保に努め、嵩上げ工事の早期完了を目指してまいります。また、水門の嵩上げは令和5年度から着手し、令和7年度の完了を予定しております。
2	事業継続を要望	当海岸は、地域の皆様のサイクリングやウォーキングの場としてもにぎわっている。海岸の利用を促進するために、堤防から砂浜における階段を各自治会1箇所以上作ってほしい。また、久能山東照宮に訪れた観光客が海岸を利用できるよう、久能山下交差点付近に、階段の設置をお願いしたい。	現在、200/mに1箇所程度の頻度で階段工を設置しております。今後も、階段工の設置位置等、地元の方々のご意見を伺いながら、工事を進めてまいります。
3	事業継続を要望	ウォーキング利用者が多いため、根古屋地区までの完成スケジュールを示してほしい。	定期的に工事説明会を実施する等、地元の方々とのコミュニケーションを継続しながら、情報を発信してまいります。
4	事業継続を要望	現在、L1津波高に対する整備を進められているが、今後数十年の間に、南海トラフ地震による巨大津波が予知されているため、引き続きL2津波高に対する整備を要望したい。	引き続き、残りの区間のL1津波高に対する嵩上げを促進していきます。また、L2津波高に対しては、県民の防災意識向上のための情報発信等、ソフト面の強化を進めてまいります。
5			
6			
8			
9			
10			

令和4年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名： 一級河川江尾江川 河川改修事業

箇所名： 富士市江尾地先

照会者： 住民等関係者

担当課：

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	市道沼津線の暗渠部で各河川が流木等が引っかかることで水の流れを阻害している。暗渠部分の拡幅等の検討・整備をお願いしたい。	流木が流水の阻害にならないよう改良を実施していきます。
2	事業継続を要望	沼川にポンプなどで強制的にもっと排水すればいいのでは。	沼川や他の沼川支川の水位上昇が懸念されるため、河川整備計画に基づく整備を推進していきます。
3	事業継続を要望	できるだけ早い江尾江川の整備を希望する。完成時期を示して欲しい。	沼川合流点から市道吉原沼津線までの整備については、令和13年度の完成を目指し整備を行ってまいります。
4	事業継続を要望	今後の見通しや進捗状況等について、地区や周辺自治会への定期的な情報提供を希望する。	情報提供の方法を検討します。
5	事業継続を要望	江尾江川の改修はもとより沼川の改修と併せることで有効な事業効果が発揮されるのでないか？抜本的な改修を期待します。	沼川では、沼津市内で放水路の整備を実施しており、完成後には、沼川の水位低下効果が見込めます。
6	事業継続を要望	江尾江川の水位上昇によって、水路や側溝の水が吐き出せないことで被害が常態化している。江尾江川の拡幅改修のみだけでなく、沼川の起因とした水位上昇に対する対策もお願いしたい。	江尾江川の改修とあわせ、水路や側溝等の管理者によるフラップゲート等の設置する対策が考えられるため、関係者との調整を図ります。
7	事業継続を要望	以前の大雨では、県道からの浸水による被害があった。江尾江川改修による県道の道路冠水解消を期待している。	引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
8	事業継続を要望	江尾江川の完了までに時間を要することは理解している。出来るまでの間、浚渫などの対策を強化してもらいたい。	引き続き、維持管理も適切に行ってまいります。
9	事業継続を要望	現在の江尾江川と施工の終わっている新しい江尾江川を接続することはできないのか？少しでも、下流に水が行けば住宅地で救われるところがあるのでは。	引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
10	事業継続を要望	新しい江尾江川の整備に時間が掛かるのであれば、今ある江尾江川の改良などは出来ないのか。	引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 大井川河川改修事業

箇所名: 一級河川大井川

照会者: 沿川地区 自治会関係者 11名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・土砂堆積により河川の水位が上昇しているため、令和4年台風15号のような集中的な雨が続きと洪水になり、多大な被害を起こす可能性がある。	・異常気象(台風や大雨など)による浸水被害等のリスクについては、十分認識しており、引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
		・沢の多い箇所は、普段は水が流れていなくても、令和4年台風15号のような大量の雨が集中的に降ると、土石流となって大井川に流れ込む恐れがあるため、沢のある箇所は対策が必要である。	・支流については、町とも連携し、必要に応じ対応を検討してまいります。
2	事業継続を要望	・千頭駅前が以前浸水したことがあり、河床が下がることを希望する。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
		・神光寺沢等の土砂の排出も有利にはたらくと思う。 ・観光地でもあるため、景観を損ねる築堤はなるべく避けていただきたい。	・支流については、町とも連携し、必要に応じ対応を検討してまいります。 ・築堤は、地元と調整を行い、景観に配慮した整備に努めてまいります。
3	事業継続を要望	・堆積砂利の撤去を要望する。 ・南小学校前 ・川根大橋付近 ・両国前(千頭側)	引き続き、河床掘削を進め、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
4	事業継続を要望	・地域の安全性の向上のため、事業継続を要望する。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
		・事業の詳細内容の説明を実施してほしい。	・今後も地元自治会等への事業説明を行いながら、事業を行ってまいります。
5	事業継続を要望	・河床の上昇が進んでしまい河川氾濫の危険がある。 ・護岸の隙間から生えた草木が護岸を崩してしまう。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
		・ダンプトラック等、通行車輛の順路については、地元の意見を反映してほしい。	・関連する工事業者に対し、交通マナー順守の徹底を周知するなどし、事業を進めてまいります。
6	事業継続を要望	・河川の氾濫防止のためにも、河床掘削や築堤は積極的に実施してほしい。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
7	事業継続を要望	・台風や大雨による増水で上流から土砂が運ばれ、その度に堆積している。 ・上流の山や道路の崩壊を防ぐ手立てをしない限り、この問題は解決しないと思うため、事業の継続を要望する。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
8	事業継続を要望	・今後も今まで以上に河川改修は続けてほしい。 ・令和4年のような線状降水帯はいつでも発生するかわからず、長期化する可能性があると思う。そのためにも事業継続を要望する。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
		・以前よりもダンプのドライバーのマナーは良くなったと思うが、河川内を走行できる箇所があれば利用していただくとありがたい。	・関連する工事業者に対し、交通マナー順守の徹底を周知するなどし、事業を進めてまいります。
9	事業継続を要望	・河原土砂が堆積し続けているため、今後も河床掘削をお願いしたい。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
10	事業継続を要望	・支流の多い地区でもあり、台風や大雨時の増水量も多く、河床も上昇している状態だと思われる。したがって、掘削及び護岸の整備は是非お願いしたい。 ・掘削を含む支流の整備もお願いしたい。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。 ・支流については、町とも連携し、必要に応じ対応を検討してまいります。
		・河床掘削時はダンプの往来も激しくなると思うため、国道や県道の損傷も平行して監視と整備をお願いする。	・道路の損傷状況についても適宜監視し、必要に応じた修繕を行います。
11	事業継続を要望	・徳山地区の浅間神社～大岩辺りの大井川に砂利堆積が目立つため、河床掘削をお願いしたい。	・引き続き、早期の事業効果の発現を目指して事業を推進します。
		・町へ徳山地区の桃沢川、杉沢川の砂利の撤去を要望していたが、令和4年台風15号により、益々河床が上昇したため、支流の砂利撤去もお願いしたい。	・支流については、管理する町とも連携し、必要に応じ対応を検討してまいります。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業
 箇所名: 上神増沢
 照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に24人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	近年異常気象も多い。砂防施設の早期完成を強く望む。	本堤は立ち上がっているため、事業の早期完了を目指し、事業進捗を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 八津奥沢北沢

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に16人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	大雨が降ると不安、砂防ダムの事業を進めてほしい。台風15号で竹林寺から濁流が自宅に流れ込んだ。砂防えん堤の建設を強く望む。	早期完成を目指して事業を推進する。
2	意見	土砂堆積、河床の痛み、点検をしてほしい。	現地確認を行います。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 原東沢

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に33人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	小学校のすぐ裏には山がある。近年のニュースを見てみると、大雨が降るたびに不安がよぎるため、砂防の施設は必要とだと感じる。	補正予算(5カ年加速化対策)をうまく活用しながら、事業の早期完了を図る。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業
 箇所名: 洞川
 照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に20人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	砂防事業継続ありがとうございます。長期期間になるとのことですが、予算の関係もあり大変だと思いますが、早期完成を願います。全国ニュースなどを見ると不安になります。	補正予算(5カ年加速化対策)をうまく活用しながら、事業の早期完了を図る。
2	事業継続を要望	ゲリラ豪雨など突発的な気象の変化があり、土砂災害も多く発生しており、この周辺も危険な場所もあります。しっかりとした工事を行ってもらい、安全であるようお願いしたいです。	補正予算(5カ年加速化対策)をうまく活用しながら、事業の早期完了を図る。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業
 箇所名: 西上神沢
 照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に8人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	人家に被害が生じるような場所には工事が必要だと思うが、山中には必要ないと思う。自然の地形の変形に任せておく方がいいと思う。既存の地形を削る事による弊害が生じると思う。(植生、水利など)	谷出口に砂防堰堤をつくることにより、下流域の人家を守るための工事です。地形改変は最低限とし、可能な範囲で植生等の回復を図るような工法を選定しています。
2	事業継続を要望	土石流以外に山崩れ、がけ崩れの危険箇所が多く有る為、雨の季節になると不安な気持ちで過ごしています。要望書を出しても防災対策を実施してもらえず不安な状態が続いています。	要望については再度確認させていただきますが、施設整備には時間がかかります。大雨等が予想される場合は、早めの避難をお願いします。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 地すべり対策事業

箇所名: 口坂本

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に7名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も地すべり対策事業を進める必要性を感じている。(7名)	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業進捗を図ります。
2	その他自由意見	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、近年口坂本防災訓練がない。これまでは訓練時に事業説明があったため、避難訓練と事業の現状説明をお願いする。	防災訓練を実施し、訓練時に事業説明を行います。また、防災訓練が実施できない場合は、事業実施状況を地区住民へ周知するよう心掛けます。
3	その他自由意見	道路の清掃をまめに行ってほしい。	道路管理者である静岡市に適切な道路管理を実施するよう御意見を伝えます。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 長岡左近山

照会者: 長岡左近山急傾斜地崩壊対策事業の受益者 7名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(7名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。

令和5年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 坂本

照会者: 坂本急傾斜地崩壊対策事業の受益者 23名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(22名)	予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進していきます。